

復命書

2012年9月15日

新政会 代表
望月 厚司 様

議員名 佐藤成子

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	2012年9月8日（土）9日（日）	
2 視 察 先	(1) 都 市 名 視 察 先 施 設 等	日本地方政治学会・日本地域政治学会 2012年度東京研究大会 地方政治報告会 I
	(2) 対 応 者	日本公益学会 法政大学大学院政策科学研究所 法政大学大学院公共政策研究課 現代政治分析 講座
3 目 的	<p>地方行政から地方自治を経て地方政治確立へを目的に設立されたこの学会。設立理事の弁は、今地方は、「国政に対する地方」として、「都市に対する地方」として、自律の度合いを高めている。さらに地方の政治的な実践の中でも、地方議会においてマニフェストを掲げる会派や、マニフェストに基づく選挙を行う首長が出現し、その動きを後押ししてきている。こうして国政よりも地方は、より住民に近い目線の中で、これまでの地方行政論、地方自治論の問題対象であったかつての地方のあり方であった単なる「執行の対象」から、住民と協働しながら政策を決定していく地方政治論というあらたな「政治の対象」へと変貌を遂げつつある。</p> <p>本学会では、そうした問題意識を共有する住民の代表（国会議員、地方議員）、研究者、行政職、事務職、市民、そして報道関係者といった、二つのレベルの「地方」に関心をもつものによって構成され、新たな将来の地方政治像を検討する共通の場を提供することを目的としている。</p>	

<p>4 内 容</p>	<p>(調査事項・調査結果を具体的に)</p> <p>『地域としての日本と地方政治の課題』をテーマに地方政治報告会と研究セッション・共通論題・ジャーナリストセッションに分かれて進められた。</p> <p>地方政治報告の 1 で報告する機会を得た。私は、以下の話をした。</p> <p>★中央政府と地方公共団体★地方公共団体による地方自治★中央集権と地方分権★地方自治を担う議会の変遷★先進例の視察研修★何故変わらない我が議会★当局の動きと私達のできる事は★市長選挙 (チャンス到来) ★改めて議員の役割とは★たゆまぬ自己研鑽</p> <p>国の政策を自治体が執行する。国と公共団体との関係は？3 割自治と言われるほどの関係だ。議会はその議事機関として設置が憲法で決められている。これまでは、国に陳情というスタイルだったが対等にならなければ、いや、地方の事は地方で決められる様でなければならぬ。地方分権の必要性を訴える。四日市市の議会改革を紹介。質問の仕方や議場のづくりが問題に。一度は盛り上がった我が市の議会改革基本条例の制定だったが何故そこまで至らなかったかを説明する。基本構想や基本計画は、議決事項と定めた。で、議員の役割は、批判、修正、監視、対案提示が仕事。何の為に議員になったか？議員になって何をしたいのかの明確化が必要だ。政策立案できる議員へ。議会制民主主義とはについて議論した。他のセッションが覗けず残念だった。</p> <p>★独立した持続可能な自治体経営について 鈴木康友 浜松市長</p> <p>限界集落もあるなかで、インターカルチュラル・シティーの話。移住者や少数者によってもたらされる文化的多様性を、脅威ではなく、むしろ好機と捉え、都市の活力や革新、創造、成長の源泉とする新しい都市政策とのことだ。静岡と手を組んでの特別自治市の話。少しでも早い地方分権を期待したい。知恵を使った CP。出世プロジェクトはこれから可能性を秘めているようだ。</p>
<p>5 成果・市政への反映等</p>	<p>思いもよらない発表の機会。良い経験だった。今後の議会活動に活かしたい。地方をキーワードにしているこの学会。これからもいろいろなヒントが得られそうだ。</p> <p>2 日目の浜松市長の講話おもしろかった。アイデア、発想は学ぶべきところが多々あった。</p>

